

## 台風ハザードマップ開発とタイフーンショット計画～2050年までに台風の「脅威」を「恵み」に！～

Development of typhoon hazard map and typhoon-shot project;  
Change the "threat" of a typhoon into a "grace" by 2050!

\*筆保 弘徳<sup>1</sup>

\*Fudeyasu Hironori<sup>1</sup>

1. 横浜国立大学

1. Yokohama National University

2019年9月、のちに「令和元年房総半島台風」と呼ばれる台風15号は、気象庁が上陸記録を残し始めた1991年以降において最も強い勢力で関東に上陸した台風となった。そしてその凶暴な風が残した爪痕から、首都圏の脆弱性が露呈した。その1年前の2018年台風21号も、非常に強い勢力のまま西日本を駆け抜けて、近畿圏に壊滅的な被害を及ぼした。日本損害保険協会によると、この台風21号による被害額は日本における風水害の損害保険支払額で史上最高になった。これだけ科学技術が進んだ近年においても、いまだに台風は脅威の存在となっている。そこで本講演では、近年の研究から開発された世界初の台風ハザードマップを紹介する。さらに、2050年という未来にむけて、台風を制御し、さらには資源にまで変貌させるプロジェクトも紹介する。

キーワード：台風、ハザードマップ

Keywords: Typhoon, hazard map